

平成 30 年度第 2 回 頼原デイサービスセンター運営推進会議

日 時 平成 31 年 3 月 28 日(木)午後 2 時～

場 所 愛寿園会議室

出席者:

1、あいさつ

2、デイサービスセンター活動報告

3、デイサービスセンター事業計画

4、意見交換

次回開催予定 7 月

平成30年度第2回
運営推進会議資料

頓原デイサービスセンター

利用料金

通所型サービス

(要支援1 月4回 要支援2 月8回の利用の場合)

(1ヶ月あたり)

	負担金	食事代	合計
要支援1	2,008円	2,200円	4,208円
要支援2	3,865円	4,400円	8,265円

※上記金額は1割負担対象の方です。

※食事は1食550円、時間延長なし。

地域密着型通所介護

(1日あたり)

	負担金	食事代	合計
要介護1	897円	550円	1,447円
要介護2	1,038円	550円	1,588円
要介護3	1,184円	550円	1,734円
要介護4	1,330円	550円	1,880円
要介護5	1,475円	550円	2,025円

サービス提供体制加算 6単位 入浴介助加算 50単位 個別機能訓練加算 56単位 介護職員処遇改善加算 I (加算率5.9%)を含めています。

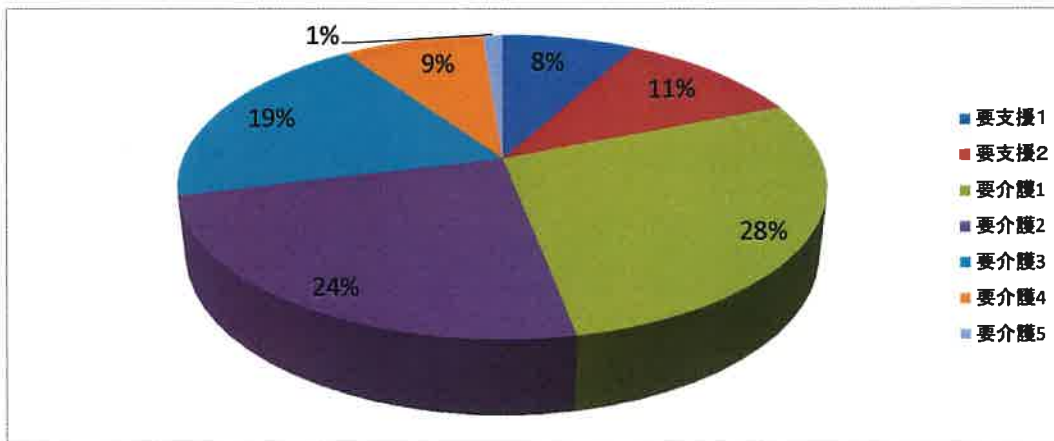
※上記金額は1割負担対象の方です。

30年度変更箇所

※時間延長1時間あたり1,000円(但し、30分未満は切り捨て、30分以上は切上げ)

※キャンセル料 利用日当日の8時までに連絡の無い場合 食費550円を徴収する。

利用状況 (4月～2月)契約者数 58名 平均介護度 1.80 平均年齢 87.07



	利用延べ人数	営業日数	1日の利用人数	利用率
4月	360	25	14.40	80%
5月	381	27	14.11	78%
6月	402	26	15.46	86%
7月	409	26	15.73	87%
8月	391	27	14.48	80%
9月	358	25	14.32	80%
10月	392	27	14.52	81%
11月	372	26	14.31	79%
12月	373	26	14.35	80%
1月	373	25	14.92	83%
2月	333	24	13.88	77%

平均人数 14.59

職員体制

管理者1名
 生活相談員2名(うち1名兼務職員)
 介護職員6名(うち1名兼務職員)(うち介護福祉士資格者3名)
 看護職員2名
 理学療法士1名
 その他の職員

主な行事実施状況

月	行事名	内容
4月	花見ドライブ	桜を見にドライブを実施。飯南町内や雲南市。
5月	ボタン見学	赤名のボタン園に見学に行く。
	遠足	きららの多岐へ遠足に行く。
6月	しめ縄館見学	地域の文化に触れ交流する。
	ポピー見学	ポピーを見学に志津見フラワーパレーへ行く。
7月	流しそうめん	昼食に流しそうめんを実施。
8月	マジックショー	三嶋清志様マジックショー
9月	安来節	敬老会の行事で外部の方を招く。
	外部ボランティア大正琴	地域の方を招き交流する。
10月	リンゴ狩り	赤来高原リンゴ園へリンゴ狩りに行く。
	ミニ遠足	三瓶周辺のドライブと三瓶荘で食事をする。
	運動会	曜日をかえて2回行う。
11月	囃子見学	祭りの囃子見学へ行く。
	お好み焼き作り	調理の準備を支援し昼食にお好み焼きを提供する。
	紅葉ドライブ	ハ神や吉田に紅葉見学に行く。
12月	忘年会	職員が余興を行い楽しんで頂く。
1月	ビンゴ大会	景品を用意し楽しんで頂く。
2月	ウクレレ教室	ウクレレ演奏や事際に楽器に触れてもらう。
	無声映画	無声映画上映。

介護保険外サービス状況

・配食サービス

利用なし

・おむつの販売

14名利用 244個(2月末)

その他

・家族の集いを年3回実施

(デイサービス・短期入所ご利用のご家族様対象)

平成30年度リスクマネジメント状況

種類	事故報告	ヒヤリハット報告	合計	
転倒	3	2	5	71.4%
転落			0	0.0%
誤嚥			0	0.0%
表皮剥離 皮下出血	1	1	2	28.6%
その他			0	0.0%
合計	4	3	7	

57%

43%

事故報告

発生場所 デイサービストイレ

状況・経過 トイレ使用时手すりをつかみ損ね手すりと便器の間に挟まるように転倒される。

処理・処置 起き上がれない状態だったので職員が二人で体を起こす。
転倒により右大腿部に皮下出血ができる。
本人の痛みの確認、その後の歩行状態、皮膚の確認を行う。

要因分析 手すりをつかみ損ねたことによるものと思われる。

今後の対応 歩行器でトイレに入ったときの動きの確認が必要と思われる。
動作順序を声掛け等で指導する。

【発生場所】

	ホール	トイレ	脱衣場・浴室	園外
事故報告	1	1	1	
ヒヤリハット報告	2		1	

介護予防事業所 にじいろ

サービス提供時間/場所
 ・9時～13時/頓原公民館

ご利用対象者
 ・事業対象者、要支援1、要支援2の方

利用定員
 ・15名 (2月末 9名利用)

サービス提供日
 ・毎週火曜日(月4回実施)(祝日は除く)



送迎区域
 ・飯南町頓原地域(通常の実施区域)

サービス内容
 ・介護予防事業所にじいろは、体操と予防活動(買い物等)を組み合わせた事業です
 (体操) (買い物)

利用回数、利用料金

- ①月4回利用
- ②料金 1割負担 月1,367円
 2割負担 月2,734円

主な行事実施状況

	行事名	内容
5月	ボタン園 運動機能評価	赤名ボタン園見学、一福で昼食
6月	栄養指導	高血圧について(管理栄養士 景山)
7月	遠足	マルシェリーズで買い物、和かな寿司で昼食
8月		マジックショー(三嶋清志さん)
9月	りんご園	赤名りんご園、萌美野で昼食
10月	運動機能評価	5月からの運動機能改善の評価を行う。加田の湯 昼食会
11月	頓原小学校見学 遠足	頓原小学校の授業を見学し、給食を生徒と一緒に食べる。おくい食堂で昼食を食べ、みしまやで 買い物をする。
12月	忘年会(クリスマス会)	オカリナ演奏、銭太鼓など職員が披露する。
1月	新年会	マジックショー(三嶋清志さん)
2月	口腔ケア指導 無声映画	口腔ケアの体操を行う(理学療法士 高垣) 頓原公民館で無声映画を鑑賞する。
3月	避難訓練	頓原公民館で避難訓練を行う。

平成30年度事業反省

○サービス目標

サービス目標	反省
・利用者には楽しく、家族には信頼される場所となる。	利用者、家族ともコミュニケーションとれており、大きなトラブルはなかった。女性利用者が多く、女性スタッフ目線で食器等を変更してお茶を飲まれる量が増えた。今まで以上に、カンファレンスや送迎時に自信を持って物事を説明できる力を養う。家族のつどいでの意見を参考にしていきたい。

○事業計画

事業計画	反省
①行事の提供	概ね達成できた。 来年度も遠足は2回継続する。
②自己研鑽を図る	自己研鑽は常日頃から取り組まなければならない。各々、事情があると思うが、研修だけでなく、仕事の合間でもスキルの向上に努めるなど工夫して取り組んでほしい。
③他事業所との連携	他事業所との関係も概ね良好。 利用者に満足してもらうには、自分たちの連携、チームワークが欠かせない。職員間での情報共有、コミュニケーションを密にし、チームワークを強化していく。

平成31年度事業計画

○サービス目標

サービス目標	課題	対応策(事業目的・目標値・実施時期等)
利用者・スタッフとも笑顔が絶えない場所となる。	・利用者の思いを叶える。 ・コミュニケーション(利用者、スタッフ間)	・会話の中から利用者自身の想いや希望、願望をくみ取り、個々に合う対応を行う。 ・職員間のコミュニケーションを密にし、情報の共有を図る。
御家族の信頼を得る	・家族との対話	・家族の想いを踏まえながら最善の支援を提案する。 ・利用希望に対して迅速に対応する。

○事業計画

事業計画	課題	対応策(事業目的・目標値・実施時期等)
①行事の提案	・月の行事回数 ・利用者の思い	・月に5~6回とし、外部ボランティアの協力もお願いし地域とのつながりを強くする。年2回(5月、10月)遠足を行う。
②自己研鑽を図る	・研修の開始時間	・個人で年2~3回、研修に参加する。 ・デイサービス内での研修も計画する。(研修を受けた方の伝達研修等) ・デイ会議も利用する。
③他事業所との連携		・援助記録の確認を行う。 ・ケアマネ、ヘルパー、他事業所へ気付いたことは書面だけでなく、電話等での報告
④チームワーク強化		・少人数の事業所だかこそ、少数でも協力してケアが行えるように、簡素化できるものは簡素化する。職員間のコミュニケーションを密にとる。

第2回頓原デイサービスセンター運営推進会議会議録

開催日	平成31年3月28日(木)	開催時間	14:00~15:00	記録	光田真也
参加者	K様(地域包括支援センター)、I様(公民館職員)、O様(家族代表) 吉田(園長)、光田(事務次長)、倉橋(生活相談員)				
議題	1、頓原デイサービスセンター活動報告 2、デイサービスセンター事業計画 3、意見交換				
会議内容	<p>1、頓原デイサービスセンター活動報告 別紙 運営推進会議資料にて報告</p> <p>2、頓原デイサービスセンター事業計画報告 別紙 運営推進会議資料にて報告</p> <p>質問等</p> <p>Q、避難訓練はどのように行っているか？ A、併設事業所と合せて行い、その日の利用者の方に協力してもらい行っている。</p> <p>Q、家族の集いの参加者が減ってきているが？ A、家族の方も仕事があったり、送迎の足がなかったりするので今後検討します。</p> <p>意見・要望</p> <p>緩和したサービス事業(にじいろ)とデイサービスセンターとの利用者の差別化をうまく図って行ってほしい。 60代で障害のある方が地域におられが、事業所での掃除など、地域で何か役割があればと思う。</p> <p>吉田園長が3月末で退職のため挨拶</p> <p style="text-align: center;">次回開催予定 7月</p>				
次回開催予定	平成30年7月				